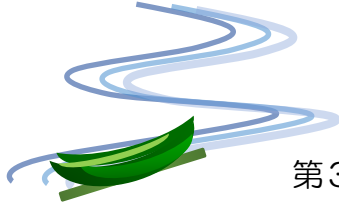


ささぶね

～母校と共に歩む同窓会～



第39号

竹早教員保育士養成所同窓会



現在と過去との対話から
未来への展望を

会長 清水 道代

同窓会員の皆様におかれましては、お健やかに過ごしのこととお慶び申し上げます。今年度もこうして会報39号を皆様のもとにお届けできますこと、大変嬉しく心より感謝申し上げます。また、昨年度は「ささぶね」同封のアンケートにお答えいただき有難うございました。

「ささぶね」の郵送を希望される会員は約120名、それに維持会費納入者と理事、新入会員を合わせますと今年度からは約350名の会員にお送りすることとなりました。同窓会の活動に対する期待や要望等も把握できましたので、今後の運営に役立てて参りたいと存じます。引き続き、同窓会のホームページには「ささぶね」や研修会等イベントの案内を掲載して参りますので、「ささぶね」がお手元に届かないご友人等に是非、ご覧いただきますようお願いいたしますと大変有難く存じます。さて、初代同窓会長の松石治先生は、卒業生として初めて母校に勤務し、戦前戦後を通じて数千人に及ぶ学生を指導、母校の養成教育と幼児教育の発展に尽力されたことは多くの会員の知るところでございます。また、実践的な著書を多く残され、今を生きる私たちに多くの示唆を与え続けてくださっています。しかし、私自身もそうですが、役員の殆どが松石先生にお目にかかったことがない世代となっております。そこで、去る4月26日(土)に竹早学園の理事長、所長、事務長と役員6名で雑司ヶ谷霊園にある松石先生のお墓参りに行って参りました。天候にも恵まれ、清々しく心温まる思いと共に、未来へ繋いでいくことの責任を改めて実感する時間となりました。

した。今年度はご案内の通り、7月5日(土)に交流会及び研修会を実施致します。軽食を共にしながら多くの対話が生まれる場が持てればと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。改めて日頃のご厚情への感謝を申し上げますと共に、これまで以上に多くの会員の皆様が同窓会の活動にご関心を持っていただき、持続可能な同窓会に向けて絆を深めていただきますよう宜しくお願い申し上げます。

【維持会費の報告とお願い】

同窓会を発展させる大きな原動力です。

令和6年度は会員の温かいお心に支えられて、146名のご協力をいただきました。

おかげ様でささぶね発行への協力など事業を展開することができました。

ご協力ありがとうございました。

【維持会費 振込先】

①同封の振込取扱票で郵便局から振り込む

②下記の口座に振り込む

ゆうちょ銀行 店番019

預金種目 当座

口座番号 0106884

※1口1,000円以上でご協力お願いいたします。

【保育研究発表会について】

12月20日(土) 10:00~14:00

母校第一校舎で行われる保育研究発表会で

「お休み処：ささぶね」を今年度も開設致します。

是非、お立ち寄りください。

【研修会について】

7月5日(土)に行います。是非、ご参加ください。

詳しくは、チラシ若しくはHPをご覧ください。

【学生募集(令和8年度)への協力】

令和7年度から週4日のカリキュラムとなりました。令和8年度から保育士資格のみ取得可能な「保育士科」が新設されます。詳しくは養成所事務室にお問い合わせください。

【母校の校舎を利用して同期会を開きませんか】

同期会等を開く場合は、母校の教室を無料で貸し出ししています。詳しくは養成所事務室にお問い合わせください。



同窓会への期待
学校法人竹早学園
理事長 吉野 尚也

デジタル化が進み、セルフレジや注文はタブレットで、配膳ロボットが料理を届け、カードやポイントで清算する時代、スマホがあれば財布や現金は持ち歩く必要のない時代。

かつてないスピードで社会が変化する歴史の転換期、そんな時代に同窓会が果たすべき役割とは人と人との暖かい触れ合いであり、相手の立場に立つ思いやりではないでしょうか。

明治21年に幼稚園保姆講習所として創立してから136年、数多くの卒業生が心の拠り所としての同窓会だけに、時には旧交を温め、昔話に時を忘れる場として、お弁当や飲み物やお菓子を持参して、喜びや悲しみを共有出来る同級会や数人の仲間での憩いの場に竹早教員保育士養成所を是非使って欲しいと思っています。



新しい学び方スタイル
竹早教員保育士養成所
所長 赤津 裕子

先日、同窓会の皆さまと松石治先生のお墓参りにご一緒いたしました。松石先生はその一生を幼児教育に捧げ、特に教育保姆伝習所の設立にご尽力されたと記されています。（「技術と信念の人 松石 治」より）

竹早を支えた先人たちは、長い歴史の中で、さまざまな困難を乗り越え、竹早を守り、発展させてきました。

令和7年度、竹早では新しい試みとして、週4日通学で2つの国家資格を取得でき、もう一日はさらに保育を深めるために「保育探究講座」を新設しました。学生にはとても好評です。さらに令和8年度にむけて、新しく「保育士科」を申請中です。週4日午前中の通学とオンライン授業との併用により、子育てや仕事をしながら保育士資格を取得できます。新しい学び方スタイルの提案です。保育者養成校にとって厳しい時代である今こそ、同窓会の皆さまと手を携え、知恵をしばり、社会に必要とされる養成校をめざしたいと思っています。学生募集におきましても、ご紹介いただきますようお願いいたします。



【新理事紹介】はじめまして（令和7年3月卒）



- ☆小林 早紀☆ 私が私らしくいられるよう竹早で学んできたことを存分に引き出して笑顔が絶えないクラスにしたいです！頑張ります！
- ☆平野 翔☆ 日本保育研究旅行を行ってみたいです。これから、職務を通して知ることや考えをさらに深く学び続け、また他者の保育を見ることなど自身のスキルを磨き続けていきたいです。
- ☆金子絵理香☆ まだまだ分からないことも多いですが、日々学びながら一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。皆さんから色々と教えていただきながら成長していきたいと思います。
- ☆長谷川亜美☆ 新社会人として、とても緊張しますが毎日を大切に日々学びながら保育者として活躍していけたらと思います。また、同窓会を通して様々な方と交流できたらなと思います。よろしくお願いします。
- ☆石坂 侑理☆ 子どもがより良い生活を送れるように、自分には何ができるかを同窓生の方と一緒に考えて実行していきたいです。4月から新しい環境になり、戸惑うことも多いと思いますが、子どもを一番に考えることは絶対に忘れずに関わっていこうと思います。
- ☆近藤 壮☆ 企画を考えたり、その企画を実行するために動いたり頑張っていきたいです。新社会人としての自覚をもち、子どもの気持ちを理解し、受け止め、寄り添い、その子にあった養育をしていきたいです。頑張ります！

令和7年度竹早教員保育士養成所同窓会理事会組織

	役 職	氏 名	卒業年		役 職	氏 名	卒業年		役 職	氏 名	卒業年
1	会 長	清水 道代	S.57	13	理 事	根岸 裕子	S.53	25	理 事	根元 琴乃	H.31
2	副会長	福田多喜子	S.44	14	理 事	清水百合香	S.55	26	理 事	白井 勇哉	H.31
3	副会長・事務局長 (養成所教員)	中村香津美	S.55	15	(新)理 事	加藤 育代	S.61	27	理 事	木村 翼	R. 4
4	副会長・会計 (養成所職員)	山口 直美	S.55	16	理 事	田中 通子	H. 8	28	理 事	房田 豊	R. 5
5	会計監査 理 事	小野寺萬亀子	S.38	17	理 事	三上 千裕	H.14	29	理 事	山畑 萌恵	R. 5
6	会計監査 理 事	高原 泰子	S.46	18	理 事	森 華代	H.15	30	(新)理 事	小林 早紀	R. 7
7	理事・事務局 (養成所教員)	小川貴代子	H. 8	19	理 事	井上 澄恵	H.15	31	(新)理 事	平野 翔	R. 7
8	(新)理 事 (養成所教員)	高橋 順子	S.60	20	理 事	藤井 雅人	H.20	32	(新)理 事	金子絵理香	R. 7
9	理 事	田中 靖子	S.33	21	理 事	藤井 大輔	H.24	33	(新)理 事	長谷川亜美	R. 7
10	理 事	岡川 洋子	S.36	22	理 事	岡本 瑛	H.25	34	(新)理 事	石坂 侑理	R. 7
11	理 事	塚越アサ子	S.39	23	理 事	梁本 友華	H.25	35	(新)理 事	近藤 壮	R. 7
12	理 事	山形美津子	S.53	24	理 事	大廣 千秋	H.26				

令和6年度維持会費受付簿（敬称略） 146名

卒業 年度	氏 名	卒業 年度	氏 名	卒業 年度	氏 名	卒業 年度	氏 名	卒業 年度	氏 名	卒業 年度	氏 名
S. 27	北村たづ子	S. 43	大野千恵子	S. 47	中川 幸子	S. 52	長島美保子	S. 57	清水 道代	H. 5	仁佐瀬アキ子
S. 27	下平喜代子	S. 43	布施 睦子	S. 47	中道 利恵	S. 52	矢口由利子	S. 57	高橋美枝子	H. 6	佐藤めぐみ
S. 29	櫻段 玲子	S. 44	稲垣美登利	S. 47	鳩山多加子	S. 53	金子智恵子	S. 57	西川けい子	H. 8	青木 美喜
S. 31	梅原美代子	S. 44	岩瀬 紀子	S. 48	荒井 潤子	S. 53	川端 里見	S. 57	山崎 尚美	H. 8	宇野 佳織
S. 34	水野 静子	S. 44	小林 眞佐子	S. 48	片寄 紀子	S. 53	寺島由美子	S. 57	渡邊 みさ	H. 8	小川貴代子
S. 35	今野 君江	S. 44	遠山 暢子	S. 48	利根川久子	S. 53	山形美津子	S. 58	館 麻美	H. 8	田中 通子
S. 36	岡川 洋子	S. 44	夏目 篤子	S. 49	近藤由美子	S. 54	阿部 和子	S. 59	川村 美香	H. 13	菅家 直子
S. 36	高橋 信子	S. 44	福田多喜子	S. 49	南部 昭子	S. 54	石塚真理子	S. 59	根元 由佳	H. 16	富山 太士
S. 38	小野寺萬亀子	S. 44	宮坂 洋子	S. 49	矢部美和子	S. 54	大前 悦子	S. 59	森 貴子	H. 17	湯浅 沙織
S. 39	鎌田 宣子	S. 44	八重樫純子	S. 49	若井 洋子	S. 54	坂本久美子	S. 60	青柳 香代	H. 17	古澤 裕司
S. 39	小池 静江	S. 45	赤坂 榮	S. 50	東 智子	S. 54	芹澤 菊野	S. 60	佐藤 勝美	H. 19	西谷 華恵
S. 39	櫻井能婦子	S. 45	榎津小枝子	S. 50	大堀万里子	S. 54	松崎由美子	S. 60	高橋 慶子	H. 23	滝沢 祐子
S. 39	塚越アサ子	S. 45	大塚 敏子	S. 50	坂本 安英	S. 54	松本 典子	S. 60	富高カンナ	H. 23	橋本 侑治
S. 39	辺見みち代	S. 45	関 祐理	S. 50	都築 圭子	S. 55	倉田 久子	S. 63	河辺 陽子	H. 24	奥瀧加奈子
S. 39	豆田 俊子	S. 45	竹原 鈴子	S. 51	栗田 敦子	S. 55	柿沼 政子	S. 63	木村 登喜	H. 24	丸島 みき
S. 39	横内かほる	S. 45	八重樫真知子	S. 51	後藤 京子	S. 55	清水百合香	S. 63	本間 敏恵	H. 26	青木 優
S. 40	岩崎千代子	S. 46	小林加代子	S. 51	佐藤美佐江	S. 55	鶴来恵美子	H. 元	古俣 芳	H. 26	大廣 千秋
S. 40	川村美津子	S. 46	鈴木 富恵	S. 51	松岡 桂子	S. 55	中田久美子	H. 元	関根 菊苗	H. 26	関口 那実
S. 40	齋藤 和子	S. 46	高原 泰子	S. 51	山岸広子	S. 55	中田美由紀	H. 元	平野 恵子	H. 30	犬木 亜萌
S. 40	滝口 幸子	S. 46	星 京子	S. 52	泉澤 文子	S. 55	中村香津美	H. 元	福富菜穂子	R. 4	木村 翼
S. 41	五十嵐久子	S. 47	大村 宏子	S. 52	江間 幸子	S. 55	御手洗竹代	H. 2	垣脇 史江		尾上多恵子
S. 41	錦 美恵子	S. 47	小倉きぬ子	S. 52	大野みどり	S. 55	山口 直美	H. 2	馬場 悦子		
S. 41	湯澤都与子	S. 47	落合 俊子	S. 52	加藤千恵子	S. 56	川岡理恵子	H. 4	氏家 純子		
S. 42	小林マサ江	S. 47	酒井 幸子	S. 52	四宮 真弓	S. 57	大松 輝美	H. 5	金澤 信子		
S. 42	守山 京枝	S. 47	鈴木 俊子	S. 52	斯波より子	S. 57	加藤 悦子	H. 5	谷田 純子		

令和6年度 竹早教員保育士養成所同窓会 会計報告

			(単位：円)
収入の部		支出の部	
会 費	497,000	1、事 業 費	1,048,174
利 息	230	(1)会 議 費	90,525
雑 収 入	0	(2)研 修 費	0
維 持 会 費	678,560	(3)会報費 ささぶね印刷	89,100
会 費 前 受 金	0	ささぶね郵送料	491,260
		封筒 等印刷	290,191
		(4)入学祝品費	87,098
		2、事 務 費	466,861
		(1)印 刷 費	13,720
		(2)消 耗 品 費	5,394
		(3)事 務 費	213,000
		(4)交 通 費	121,760
		(5)通 信 費	112,987
		3、渉 外 費	36,140
		4、維持会費積立金	0
		5、予 備 費	0
前年度繰越金	1,968,920	6、次年度繰越金	1,593,535
計	3,144,710	計	3,144,710
定期預金		6,449,330	

～令和7年4月26日
松石治先生のお墓参りに行ってきました～
於：雑司ヶ谷霊園





「ウェルビーイングをめざして」高橋 順子(S60 卒)

このたび、本会同窓会の理事を拝命いたしました。私は、竹早を卒業して以来、40年間、幼稚園教諭として、勤務しました。これもひとえに、竹早での学びが基盤となったおかげであると心より感謝申し上げます。

今年度より、週4日通学と探究講座の新しい学び方が始まりました。この学び方が学生の糧となり、心豊かな保育者へと成長し、人生のウェルビーイングに繋がる支援に努めてまいります。

「母校と私と幼稚園」加藤 育代(S61 卒)

5歳で「幼稚園の先生になりたい」と、その願いと希望を胸に竹早教員養成所に入学しました。母・姉も含めて3人が卒業生です。つつじがおか幼稚園に就職後、学生時の担任だった桜段玲子先生がつつじがおか幼稚園の初代主任だったと知ってご縁にびっくりしました。今年度より副園長を任せて頂く事になり、身の引き締まる思いです。今まで育てていただいた幼稚園に恩返しをさせていただくつもりで日々精進し過ごしていきます。

「時代の変化へ対応できるように」大前 悦子(S54 卒)

竹早教員養成所時代、多くの学びができ、公立幼稚園に合格させていただきました。A区の幼稚園で5年勤務した後、結婚しB区に行きましたので、B区の幼稚園で長年勤務を続けてまいりました。その頃は公立幼稚園が多くあり、都幼教では、大規模な夏季研修会が行われていました。幹事の時には、普段はお話できない講師の先生方とも打ち合わせなどで交流できました。そのご縁で、ある講師の先生に勤務先の幼稚園においていただき、幼児に直接指導していただいたり、区の職員にも特別にご指導いただいたりしたこともありました。区の幼稚園教育研究会でも、多方面に渡っての講師の先生からご指導を受けることができ、保育の幅を広げることができました。このような学びができたのは、公立幼稚園であったからこそだと考えます。

ただ現在、公立幼稚園は激減しております。時代に即さない幼稚園は閉園となります。私の勤務していた園は2学級あり園児も多い園でしたが、閉園式を行い平成29年に閉園いたしました。

竹早教員保育士養成所は、保育士の資格も取得できるようになり、これからの社会のニーズに応えられるようになったのはうれしいことです。時代の変化に対応し、幼児教育のためにこれからもご尽力いただきたく、よろしくお願いいたします。

「未来を担う子どもたちへ」小林 加代子(S50 卒)

近年の幼児の育成環境に疑問を感じ地域社会と家庭との交流が少なくなっている事、子供の遊び場が少なくなり、室内遊びが増えテレビやインターネットゲームなどの他者とのコミュニケーションが少なく心を通わせる事もないままの遊び方に心を痛めています。現代は幼保小の学舎で親と教育側とのトラブルも多くなっていると感じます。子育て環境による親のストレスの矛先が子ども達となり、更に教育者へと矛先が向き、教育者側の精神的にきつくなる事が多々あり大変な仕事だと思います。自身に合ったストレス解消が大切だと思います。幼児にとって優しく明るい元気な教育者となり、幼児のこれからの一生を左右する大切な立場であることを忘れずに元気に学舎へ送り出していくという信念を持ち続けてほしいと願っています。

これから子ども達にとって何がいいのかと一人人間が思案中ですが自身が3歳の時重い肺炎で入院、泣く私に寄り添い絵本を読んでもくれた看護師の方を想い出しました。私自身幼稚園の先生や看護師として働いてきました。教育者の方々にこれからも子どもたちの成長を応援・見守り重要な立ち位置にいる事をお願い致します。

【事務局より】

長らく、副会長、事務局長等でご活躍頂きました、

湯澤都与子先生、釜井孝先生、鳩山多加子先生が昨年度を持ちまして、任を降りられることになりました。

これまでの多大なるご尽力に心より感謝申し上げます。

住所及び氏名の変更等について

会員の方で住所及び氏名の変更等がありましたら、必ずお知らせください。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

中村香津美・山口直美・小川貴代子

【同窓会事務局】

〒112-0002 文京区小石川 4-1-16

Email: dousoukai@takehaya.ac.jp



ささぶね 第39号

発行日 令和7年5月30日

発行 竹早教員保育士養成所同窓会

代表者 同窓会長 清水 道代